

令和2・3年度始良・伊佐地区研究協力校「学力向上」 湧水町立吉松小学校研究公開

1 研究主題

確かに読む力を育む国語科授業の創造
～説明的な文章を中心に～

2 研究発表

情報を正確に読み取る力や、多種多様な情報から必要な情報を取捨選択し、吟味する力といった「確かに読む力」を育むために、全職員で研究に取り組んだことが紹介されました。研究内容、具体的な取組については、以下のとおりです。



【研修係による研究発表の様子】

(1) 教材分析シートの作成

ア 教材分析シート…教材における指導事項，既習事項，児童の実態及びつまずきの傾向，教材文の特徴等を可視化したシート

イ 6年間の説明的な文章の系統表の作成

(2) 思考の連続性に着目した指導計画

単元を通して身に付けさせたい力の育成に向けて，毎時間の児童の思考の様子や反応を想定し，それを可視化した指導計画の作成

(3) 1単位時間の授業デザインの共通実践

ア これまでの学習をつなぐ

- ① 「問い」と「答え」に着目し，内容の全体と中心を捉えること
- ② 「はじめ」「中」「終わり」に分けたり，文章構造図に整理したりすること
- ③ 文章と写真，図表，グラフと結び付けたり，その効果を考えたりすること
- ④ 接続語，形容詞，副詞，複合語，外来語などに着目し，具体的に想像すること
- ⑤ 文末表現や段落相互の関係から，事例と意見，感想，主張を捉えること

イ 学習用語や重要語句の定着

ウ 思考が連続する学習課題と思考スキルを活用する学習活動の設定

エ 学びを持続させる対話活動の設定と教師の発問の工夫

(4) 授業と関連付けた言語環境の整備

ア 音読カードの工夫（すらすら読む，時間を意識して読む等）

イ 全文読みシートの工夫（教材文を一枚に収めたシートの作成）

ウ 学びを支える掲示物（学習計画，言葉の宝箱，考え方や思考ツール等の掲示）

3 公開授業

研究を具現化した検証授業として，安楽成穂教諭が1年生「じどう車くらべ」の授業を，福吉真弥教諭が6年生『鳥獣戯画』を読むの授業を行いました。

(1) 1年生「じどう車くらべ」

単元の後半に位置する本時では、これまでの表現の特色を捉え、「クレーン車はどんなじどう車だろうか。」というめあてを基に、「しごと」と「つくり」を読み取る授業でした。児童は、「しごと」と「つくり」について、自分の考えをペアやグループで交流しながら、自分の考えを発表していました。また、叙述と違う絵を提示し、叙述と絵を関連付ける学習が展開されていました。



【1年生の公開授業】

(2) 6年生『鳥獣戯画』を読む

単元の中盤に位置する本時では、筆者の表現にどのような工夫があるかを読み取り、その工夫を基に、自分が書いた解説文を修正するという学習が行われました。グループ活動を通して、筆者の工夫を共有し、自分の表現に生かそうとする児童の姿が見られました。



【6年生の公開授業】

4 分科会

「思考が連続する学習課題と学習活動の設定」「学びを持続させる対話活動の設定と学びを持続させる教師の発問」という2つの手立てが有効だったかという視点から、授業研究が行われました。

コロナ禍のため、グループ協議は開催できませんでしたが、参加者は、授業参観で見取った児童の学びや教師の働きかけの事実から授業を分析し、研究の成果や課題、教材分析シートの有効性、今後の展望等について意見を交わしていました。

参加者の感想から

〔研究発表について〕

- ・ 教材分析シートの作成によって、単元のねらいが明確になると思った。児童に「読むこと」の力を付けるために、思考の連続性を意識した取組がなされていることが参考になった。

〔研究授業について〕

- ・ 叙述と一致しない絵と比較するとき、叙述を思い出しながらとても意欲的に活動できていた。(1年生)
- ・ 設定された言語活動に向けて、確かな読みの学習がなされていることが、学習計画や学習の足跡からうかがえた。(6年生)

〔授業研究・分科会について〕

- ・ 各単元で身に付ける知識や技能、思考力・判断力・表現力等は確実に定着させるだけでなく、汎用的に活用できるようにしていく力を育てることの大切さを学んだ。